

②中山太一顕彰碑



明治 14(1886) 年に滝部に生まれました。16 歳の頃に下関長府の学者桂彌一に預けられ、漢学をはじめとする様々な実学

を学ぶ。更に大分県の薬種問屋より薬製造や販売実務などの研鑽を積み、明治 36(1903) 年、神戸で「中山太陽堂 (現クラブコスメチックス)」を開業。「クラブ洗粉」をはじめとする商品がヒットし、「東洋の化粧品王」と呼ばれた。また、彼は私財を投じて郷土において様々な慈善事業や教育事業を行った。県指定有形文化財 (建造物)「旧滝部小学校本館」(現：太翔館)も、大正 13(1924) 年に新校舎を建設する際、2 人の兄弟とともに多額の寄附を行ったものである。また、かつて吉田松陰が顕彰文を考えた「烈婦登波の碑」を建立する際、多額の寄附を行ったのも彼であった。彼の功績を讃えて、昭和 41(1966) 年に滝部小学校 (当時) に顕彰碑が建立された。